

応急仮設住宅における自治会の設立状況について（概要）

今後、長期化する恐れのある応急仮設住宅の生活においては、各団地において入居者が抱える課題等の情報集約を図り、自ら主体的に課題の解決を図っていくことが必要であり、入居者の孤立化等を防止する観点からも、自治会組織の立ちあげを急ぐことが重要である。

こうした観点から、自治会の設立状況について、被災県に対して定期的な報告をいただいているところ。

被災3県における自治会設立状況（12月19日時点）

1. 概要

- ・ 建設中や住民が少数など、一部の団地を除き、自治会が設立が進んでいる状況。
- ・ 設立済みの団地数は全体の約80%となっている。
- ・ 設立準備中の団地においても、自治体職員やNPOなどが団地に出向き、自治会の必要性などを説明する会を開催するなど、自治会の立ち上げを促している。
- ・ しかしながら、一部の団地においては、住民との話し合いの結果、自治会を不要とする意見が多数であるなど、により自治会を立ち上げない事例もある。

2. 被災3県ごとの設立状況（地域の自治会への組み込みも含む）

- ・ 岩手県 74.9%（第4回PT開催時 71.1%）
- ・ 宮城県 82.4%（" 77.6%）
- ・ 福島県 86.5%（" 83.0%）

※（参考）阪神・淡路大震災の時の自治会設立状況：63.1%（「阪神・淡路大震災に係る応急仮設住宅の記録（兵庫県）」より）

3. 【設立準備中】の具体的な状況

- ・ 自治会設立に向け自治体と住民で、自治会設立の説明会を開催している。
- ・ 準備委員会を設置し、準備委員が設立に向けて動いている。
- ・ 順次入居を行っているところであり、後日、入居者による集会を開催する予定。
- ・ 説明会を開催したが、自治会設立の理解が得られなかったため、再度説明会を開催する予定。

4. 【自治会未設置】の主な理由（894団地のうち3団地）

- ・ 住民と自治会の設置について話し合いをしたところ、自治会不要とする意見が多数（岩手県釜石市、宮城県気仙沼市）
- ・ 入居戸数が少数であるため（岩手県釜石市）

応急仮設住宅における自治会の設立状況

平成23年12月19日現在

| | 岩手県 | | 宮城県 | | 福島県 | | 計 | | 自治会設置率 |
|------------------|------------|---------------|------------|---------------|------------|---------------|------------|---------------|--------------|
| | 数 | 割合 | 数 | 割合 | 数 | 割合 | 数 | 割合 | |
| 設立済み | 192 | 61.0% | 230 | 58.5% | 152 | 82.2% | 574 | 64.3% | <u>80.6%</u> |
| 地域の自治会へ組み込む | 44 | 14.0% | 94 | 23.9% | 8 | 4.3% | 146 | 16.3% | |
| 設立準備中 | 77 | 24.4% | 68 | 17.3% | 25 | 13.5% | 170 | 19.0% | |
| 未設置 | 2 | 0.6% | 1 | 0.3% | 0 | 0.0% | 3 | 0.3% | |
| 小計 | 315 | 100.0% | 393 | 100.0% | 185 | 100.0% | 893 | 100.0% | |
| 建設中又は未入居 | 4 | | 7 | | 3 | | 14 | | |
| 合計 | 319 | | 400 | | 188 | | 907 | | |
| (参考) 全団地数 | 319 | | 400 | | 175 | | 894 | | |

※福島県の場合、1団地内に複数の自治会が設立されているため、合計と全団地数が異なる。